

1. 件名：運転経験に基づく重要度文書等に関する面談

2. 日時：令和4年9月21日（木） 15：55～16：35

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 検査監督総括課 渡邊課長補佐、坂田課長補佐

原子力規制企画課 片岡専門職

一般社団法人 原子力安全推進協会 荒矢パフォーマンス向上支援部長 他2名

5. 要旨

令和4年8月29日に開催した第9回検査制度に関する意見交換会合の議論に基づき、一般社団法人原子力安全推進協会（以下「JANSI」という。）から JANSI が行う運転経験情報の活用や重要度文書等の扱いについて、資料1に沿って説明を受けた。

原子力規制庁から、資料1の22ページの内容に関して、重要度文書等の公開性について質問したところ、JANSI から重要度文書等の公開性については、重要度文書等に含まれる情報の公開性に準じており、公開できるものについては概要を公開している旨の回答を受けた。一方で、世界原子力発電事業者協会（以下「WANO」という。）からの情報等については非公開である旨の回答も受けた。

上記を踏まえ、原子力規制庁からは、原子力規制検査及び運転経験等反映活動（クリアリングハウス）における重要度文書等の取扱いについて、WANO 及び JANSI と引き続き議論を継続したい旨伝えた。

また、JANSI からは、公開に資する情報については積極的に公開することを検討していきたいと発言があった。

6. 配布資料

資料1 JANSI アニュアルレポート2021

([https://www.genanshin.jp/association/annualconference\\_report/index.html](https://www.genanshin.jp/association/annualconference_report/index.html))